

講義コード	1092	科目区分	専門教育科目(子ども生活学専攻)
(フリガナ)	シャカイトキョウゴ	(フリガナ)	ヤマグチ キョト
授業科目名	社会的養護	担当教員名	山口 季音
英文授業科目名	Social care		
基準年次(開講期)	2年次(前期)	履修形態	選択(保育士必修科目)
曜日/時限/講義室	月曜日/3時限/保育実習室		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	社会的養護、児童養護、施設養護、家庭養護、児童相談所		
授業概要・目的	社会的養護の内容や目的について、理念や制度などマクロな観点から解説を行う。そのことにより、社会的養護とは何かを理解するとともに、社会的養護が求められる社会的背景について学ぶ。		
到達度評価の 評価項目	①社会的養護の理念を理解できるようになる。 ②社会的養護が求められる理由を理解できるようになる。 ③家庭養護や施設養護など社会的養護の領域を知る。 ④社会的養護系職員の専門性について考え、議論できるようになる。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション/社会的養護とは 授業の進め方、評価方法		
第2回	現代社会における社会的養護の意義 育児の社会化、養護が必要とされる社会的背景		
第3回	欧州の児童養護の歴史 近代思想、ホスピタリズム		
第4回	日本の児童養護の歴史 戦前・戦後の児童養護について		
第5回	社会的養護の制度と仕組み 児童福祉法、社会的養護の体系		
第6回	児童相談所の役割と社会的養護 相談援助、児童虐待		
第7回	子どもの権利 児童憲章、児童の権利に関する条約について		
第8回	施設養護の理念と原理 子どもの最善の利益、社会的養護を要する子どもについて		
第9回	社会的養護の領域 —施設養護と家庭養護— 児童養護施設、里親、ファミリーホーム		
第10回	施設養護の専門性 児童養護施設職員に求められる専門性		
第11回	施設養護の実践 大舎制と小舎制、地域小規模児童養護施設		
第12回	社会的養護系職員の専門性と援助技術 ケアワーク、ソーシャルワーク、心理療法		
第13回	施設の運営管理 措置、設置基準		
第14回	社会的養護の現状と課題① 貧困家庭への支援、施設内虐待の防止		
第15回	社会的養護の現状と課題② 親子分離と家族関係の再構築		
教科書・参考書等	適宜資料を配布する。参考文献としては、小野澤昇ほか編著『子どもの生活を支える 社会的養護』ミネルヴァ書房、2013年		
授業で使用する 機器等	プロジェクター、映像機器		
予習・復習への アドバイス	授業中に配布した資料や講義の内容を復習することが望ましい。		
履修上の注意・ 受講条件等	・保育士資格必修科目。		
成績評価の基準等	以下の3つの観点から評価する 1) 授業に取り組む姿勢(30/100) 2) 提出課題(20/100) 3) レポート(50/100)		
メッセージ	遅刻や授業中の私語、課題提出が遅れた等、減点の対象となる。		
オフィス・アワー	木曜4限		
その他			